

「コロナ禍が抱えるリスク、人々はどう受け止める？」



日時：5月15日（金）15時-16時半

講師：

中谷内一也さん（同志社大学心理学部）

ファシリテーター：

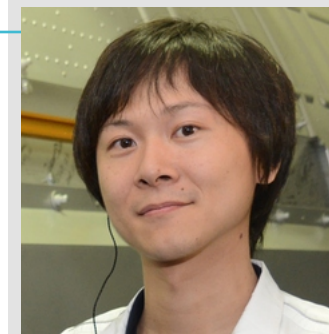
本田隆行（科学コミュニケーター）

概要：

現在進行形で続く新型コロナウイルスの感染拡大は、科学と社会の間で繰り返される「リスク」に対するコミュニケーションに様々な課題を浮かび上がらせています。

同じ原因が引き起こすリスクでも捉え方は人それぞれです。人々は何に不安を感じ、どうすれば不安は和らぐのか。リスクの受け取り方を知ることで、各々の活動においてプラスになることがあるのではないか、という思いから企画するものです。

オンラインにて参加可能ですので、関心のある方はぜひご参加ください。（質疑応答もできます）



主催：
新型コロナウイルスサイコムフォーラム
(<https://covid19sci.com>)
共同開催：
科学コミュニケーション研究会
(<http://www.scicomsociety.jp>)
学問と社会をつなぐコミュニケーション探求ライトユニット
(<http://www.cpier.kyoto-u.ac.jp/unitlist/between-academy-and-society/>)

申し込みはこちらからお願いします。<https://goo.gl/bzaCHD>
Zoomのアドレスは開始2時間前までに、メールアドレスにお知らせします。